

---

## Catch the eye 2016年7月

---

2016/7/4  
(月)

美しい

いやはや、参った。一昨日の土曜日から連日の酷暑、まだ梅雨真っ只中なのに…。風があるから、まだしのげる。それにしても、暑い。蝉の声も聞いた、土曜の朝に。今週7日は小暑。

2016年も前半が過ぎた。後半の予定や流れもだいたい決まってくるから、そろそろ来年のことも視野に入ってくる。年が明けてタイミングを逃さず一手を講じるためには、今から下準備をしてちょうどいいぐらい。

そういった意味で、先月終わりから始まった「プロ講師になる塾advacne」、受講者にとって、この塾がそれにあたる。それぞれに内に秘めた思いがある。真剣な眼差しが美しい。

夏至レターを配信し、返信をかねて近況報告をよせてくれた旧知の友。後半生は自立して創作活動に軸足を置いた生き方を選択。自問自答の日々は尽きないが、それが創造性に磨きをかけている様子。

メールの文章から、それが彷彿とされた。葛藤も、少しは鷹揚にうけとめ、現実をうけいれ、その上でまた自分の目指すところに向けて、一つ一つ実践していく。張り詰めた中にも光明をみる文面であった。

自問自答しながらも前をむき進む姿を想像。それがまた美しい。

2016/7/9  
(土)

記録

クレオ東館 プロ講師になる塾advance2016 「講師でおさまらない<ワタシ>輝く企画塾」





2016/7/11  
(月)

録音

蝉が本格的に鳴き出した。梅雨明け宣言はまだ先のようにだけ、先々週末からの暑さは、梅雨明け後の7月下旬の暑さ。記録的な暑さになるとの長期予報に「長い夏」も加わりそう。体調管理大事。

“あら、けっこう、厳しく問うている…”。録音した自分の声を聞きながら、少しあわてる。これまでそうしなかったが、先週はじめに、ふと思いついた。セミナー本番を録音しよう、自分を生きた証の一つとして。

直近が9日の「プロ講師になろう塾advace」三日目だった。ICレコーダーを持参したのに、午前中はすっかり忘れていた。いつもの流れで、始めていた。お昼休みに思い出し、午後の3時間を録音した。

受講者や起業家、経営者に問いながら、事業のアイデアや構想をホワイトボードに図示し、概観図にしていく。それが独自のスタイルになっている。9日も受講者数人のケースをアウトプットしていった。

どこに本質があるのか、それを見つけないから、問いは徐々に掘り下げたものになっていく。応答を聞いたと同時に、頭の中では、それはどういうことかと思いをめぐらし、言葉にして書いていく。

それを繰り返すうちに、脳がフル回転し、どんどんと真剣度が増してきて、相手に迫っていく。相手の立場になってみると、漠然としていたことが目に見えてくるのはいいけど、なかなかタフさを要する場面。

迫り方はちょっと工夫しようと思いなおした、録音の自分観察。

2016/7/14  
(木) 大きな流れ

朝から湿度が高い。夜半の雨が太陽に沸かれる。午後からまた雨のところもあるそう。九州な大雨の被害が続いた。大阪はさほどでもなかった。来週には梅雨明けか。

イギリスのEU離脱が決まった日、日経夕刊のヘッドラインの大きさに目を見張った。それを越える今日の日経朝刊。1997年秋の山一証券破たんの時を思いだした。

昨夜スマホの速報で、えっ?!と驚き、すぐにNHKニュースをみた。それでも、今朝のようなヘッドラインの扱いになるとは思わなかった。考えてみると、それほどのことだ。

先日、2018年に100周年を迎える団体から応援メッセージの寄稿をたのまれた。日頃仕事でもよく話している時流の読みに重ねて、過去100年果たした役割が、これからさらに大事になるとエールをおくった。

欧州諸共同体が誕生したのは1967年。条約は1965年に結ばれたというから50年の節目が過ぎた。アメリカの次の大統領は誰になるのか。日本では、改憲と「生前退位」がどうからまってくるか。中国は…。

1989年は仕事を1年間休み遊学している時だった。1月に昭和天皇が亡くなり、4月に消費税が導入され、8月に天安門事件、そして11月にベルリンの壁崩壊。

それから27年、まもなく30年。7月8日のアメリカ・ダラスの銃撃事件で警察がロボットを使い容疑者を殺害したというニュース。アメリカ国内で懸念が広まっていると報じられているが、想像されたこと。

人間はよくも悪くも超えることができる。地理的には遠くはなれていても、大きな流れがある方向に進んでいく。そこでまた眩く、今の子供たちが大人になり活躍する頃の世界と日本はどうなっているのでしょうか。

\*のちのちのために、応援メッセージを保存し、掲載  
<http://www.leeslee.com/YWCAosaka20160714.pdf/>

2016/7/16  
(土)

クレオ東

塾も来週23日はプレゼン、実質今日が最終回。今回は受講者のお一人に撮ってもらった、ポーズをとって。



2016/7/20  
(水)

祭が終われば

海の日の前日に西日本は梅雨が明けた。翌19日の朝、FMからフリーイグレシアスの「ビギン・ザ・ビギン」が流れてきた。外は照りつける太陽、青い空。あ～あ、夏だなあと一緒に歌を口ずさんだ。明後日は大暑。

子供たちは夏休みに入る。祇園祭も佳境、天神祭も目前。夏本番到来といわれるこの時期なのに、なぜかしら、夏も終わるなあと感じ始めていた、十代の頃から。

それも合点がいくようになったのは、季節の変化や暦を気にとめるようになって。大阪の日の出時間は、明日から5時台に入る。日の入りは7日から少しずつ早くなっている。

夏至からひと月。太陽の当たり方も変わり、光に微かな陰りが感じられる。天神祭、ひと月かける祇園祭も終われば、もう8月。立秋も近い。今年もまた、「東洋では夏に郷愁を感じる」の話を思い出す。

2016/7/23  
(土)

プレゼンテーション

クレオ大阪東館のプロ講師になろう塾advande2016「講師でおさまらないくワタシ>輝く企画塾」最終回。クレオ各館の担当者、特別コメンテーターの広告デザイン会社社長を前に、受講者たちが企画案をプレゼン。その準備風景。



2016/7/25  
(月)

「輝く」

お屋前には雨が降るという予想だったが、晴れたきた。蝉の声が事務所の中にも、よく聞こえてくる。今日は天神祭の本宮、あまり晴れず曇りぐらいが、やる人も観る人も楽。FMで大文字の話題、日の出時間も5時台に入った。気持ちの上では今が夏の峠。

昨年からよく使われている「輝く」。先週終わっプロ講師になろう塾advancも、今年は「講師でおさまらない<ワタシ>輝く企画塾」。塾の中でも、「輝く」の捉え方が議論になった。こういう時はその漢字の源を調べるのがいい。

愛用の『常用字解』（白川静 平凡社）を開く。「輝」は光十軍。「軍」は「車の上の立てた旗がなびいている形」。「將軍の乗る兵車の旗を振って全軍をしきすことを揮うという」。「輝」→「軍」→「揮」と調べ、説明文を読み、そういうことか…。

自分の目指す何かのために、自身に旗印を立て、この広い世の中に挑む。リスクもハードルもあるに違いないけれど、果敢に進む先に人々が集い、旗ががそびえ、その旗に陽があたり、まぶしく輝く。そんな絵が頭に浮かんだ。挑む精神こそ、「輝く」の出発点。

創業塾やプロ講師塾のような自分の生き方に関係するセミナーでは、最終回に何らかのエールやメッセージ、訓を表して受講者へ渡す。今回は『「<ワタシ>輝く」考』としてまとめ、今後のエールに代えた。塾はほんの通過点、これからの実践の先に輝きあり。

2016/7/28  
(木)

新聞

思わず眉をしかめる暑さ。サングラスをかけて、目から感じる暑さをしのぐ。このことに気づいてからは、まわりの人にもサングラスを勧める。以前は暑さのあまりに頭がボーとして、それが一日続いていた感じ。それが今はなくなった。肌だけでなく、目も日差し予防を。

予防といえば、社会的現象になっている例のネットゲームが日本でも配信されてからは、青信号でも左右をよく見て渡すようにしている。電車の中でこれまで以上に回りに注意をむけるようにしている。ますます回りを見られない人が増えて、こちらが被害をうけかねない。

7月22日付の日経社説に「サイバー空間の寡占とどう向き合うか」の記事があった。何を今さらという感。さんざん太鼓持ちをして、今に至っているのではないか。知人の経営系の専門家の中に、日経は止めたという人が二人いる。気持ちはよくわかる。

全体的には遠巻きにしながら読み、大事だと思う箇所は真剣に読む。昨日の夕刊に「子供の読解力測定ソフト」の記事があった。ああ、新井先生だなあと内容を読む。人工知能をよくわかった人が直面した問題。子供たちの読解力不足への危機意識と実践に、敬服。

今日の朝刊には「歩きスマホ、重大事故に」というインタビュー記事。豊田中央研究所から愛知工科大の先生になった方の話。3つの事故防止策を挙げて、その限界も指摘。結局、社会的認識、歩きスマホはだめだという常識が備わらないとだめだという弁に、同感。

何が本当に世のため人のためになるのか。それを考え、実践している人。だから世の中まだ守っている。そう思える記事もあって、読む新聞。

2016/7/29  
(金)

けいはんな

昨年1月の創業塾受講者の方がアートサロンを開業。イベントの案内をいただき、出かけることに。前から一度は訪ねてみようと思っていた国会図書館関西館がそう遠くないことがわかり、ここで見られない資料があって、開館時間に合わせて出かけたのでした。



a la main

開業したばかりの『a la main』。フランス語で<手作り>という意味とのこと。アートでつながるコミュニティーサロンという創業者の思いが醸しだされている空間。さっそくこれまでのつながりで、イベントの申し入れがあり、アロマキャンドルとブリザードフラワーのコラボ教室がオープニングイベントに。

